

# かほく ワークシート

## スポーツ万能、美術館の館長…

ノーベル医学生理学賞の受賞が決まった大村智さんは、理科や体育の教師を務めたことのある異例の経歴で知られ、郷里の山梨に戻って研究者に転身、偉業を成し遂げた。思いやりを意味する「恕（じょ）」という言葉葉を大切にし、「世のため人のためになる研究を」と言い続けてきたという。

1935年、山梨県韮崎市の農家に、5人きょうだいの長男として生まれた大村さんは、当然のように農作業を手伝い「勉強なんてしなかった」と振り返る。韮崎高に入学するとサッカーや卓球、スキーに没頭した。特にスキーは、大学生のときに国体に出場したほどの腕前だ。

手先が器用だったこともあり、58年に山梨大を卒業すると、教師として東京都の都立墨田工業高校定時制に着任した。生徒たちは、昼間、工場で働いた後に登校し、熱心に勉強していた。中には手に油が付いたままの生徒もいた。

### 異色の経歴 多彩な才能

大村さんは「自分も頑張らなければ」と一念発起。夜は教師を続けながら、昼は東京理科大学の大学院に通い分析化学を学んだ。そこで研究の面白さにのめり込んだ。卒業後は教師をやめて山梨大の助手になり、地元名産のワインの発酵に関する研究を始めた。微生物に出合ったのもこのころだった。

大村さんの発見がもととなった「イベルメクチン」は、失明の原因となるオンコセルカ症（河川盲目症）の特効薬だ。2004年、大村さんはアフリカのガーナを訪問した。「イベルメクチンのおかげで、失明することがなくなった」。子どもたちが集まり、笑顔の大歓迎を受けた。

大村さんは韮崎大村美術館（韮崎市）の館長という顔も持つ。私財を投じて集めた絵画や陶磁器などの美術作品約1900点を収蔵。07年の開館後、美術を楽しむ喜びを多くの人と分かち合いたいと、韮崎市に同館を寄贈した。

(2015年10月6日河北新報朝刊)

① ( ) に適切なことばを書き入れて、ノーベル医学生理学賞を受賞した大村智さんの経歴をまとめましょう。

・大村さんは、( ) 年、( ) の農家に( ) 人きょうだいの長男として生まれました。地元の韮崎高、( ) 大を卒業後、教師として東京都の定時制高校に勤めました。その後、夜は教師を続けながら、昼は( ) の大学院に通い、分析化学を学びました。大学院卒業後は教師をやめて山梨大の助手になり、ワインの発酵に関する研究を始めました。( ) に出合ったのもこのころでした。

②大村さんは、何ということばを大切にしていますか。そのことばにはどのような意味がありますか。

「 \_\_\_\_\_ 」・ことばの意味 ( \_\_\_\_\_ )

年 組 名前

(小学校高学年/道徳、自分づくり教育)